

富部神社『観桜祭』

令和7年3月30日(日)桜の開花宣言が出て初めての日曜日やや強い北風が吹く中、南区の富部神社で『観桜祭』が行われました。『観桜祭』とは、桜の花を鑑賞するために催される祭りや花見の会を意味します。

富部神社本殿は名古屋にある神社仏閣4基の重要文化財に指定されている由緒正しい建物です。こなみ会の竹内孝明さんにいろいろ富部神社の歴史などについて教えていただきました。

名古屋市にある神社仏閣4基の重要文化財ですが、あと3基の建物、皆様ご存じですか？正解は後程お知らせします。

現在本殿は修理中で、令和8年2月に完成し、3月に奉祝祭があるそうです。

さて、残念ながら和太鼓は午前中に演奏があり見られませんでした。午後2時から宮司さんによる祝詞が上がり、その後1時間にわたって雅楽奉納演奏がありました。こなみ会の会員も何人か来て一緒に雅な平安時代さながらの装束を見ながら美しい演奏に耳を傾けました。南区にある重要文化財、大切にしたいですね。



富部神社鳥居



本殿修理中



宮司さんの説明



雅な雅楽演奏



雅楽演奏を見る人達

- 名古屋市神社仏閣の重要文化財
- ・荒子観音多宝塔
 - ・龍泉寺仁王門
 - ・八事興正寺五重塔
 - ・富部神社本殿
- (ほかに名古屋城の隅櫓がありますが、ここには含まれません)